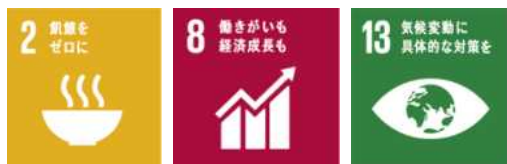


## 普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)7月20日  
所属名：東近江農産普及課西部  
番号：E22001  
部門分類：110(稲)  
発信者名：川上、椎木、大角、他

## 近江米新品種「きらみずき」穂肥現地研修会を開催

7月5日、水稻新品種「きらみずき」の新規生産者の栽培技術の習得を目的に穂肥現地研修会を東近江地域農業センターと連携して開催しました。当日は竜王町橋本、近江八幡市安土町石寺の管内2ヶ所で開催し、きらみずき生産者や関係機関から計38名の参加がありました。

「きらみずき」は、米市場で存在感を高めるため、栽培方法を環境こだわり栽培基準よりさらに厳しい「化学肥料や殺虫・殺菌剤(化学合成農薬)不使用栽培」と「オーガニック栽培」の2区分に限定して栽培され、今秋にプレデビューを迎えます。管内では39名の生産者により約30ha作付けされています。

当課からは穂肥施用時期の目安や施用量、今後の栽培管理について、実際にはほ場の生育状況を確認しながら説明を行いました。参加者からは穂肥施用時期の葉色や施用資材等について多くの質問が出されるとともに、生産者間での意見交換も図られました。

8月下旬には令和6年産の生産者向けの研修会、9月には収穫前の現地研修会を開催する予定です。当課は今後も「きらみずき」の安定生産と令和6年産の生産拡大に向けて、関係機関と連携して支援していきます。



穂肥の施用時期について説明



幼穂の確認